

総合計画策定推進本部 第1回本部会議 会議概要

【開催概要】

日 時 平成26年1月6日（月）午前9時30分～
会 場 市役所本館5階 全員協議会室
出席者 本部長，副本部長，本部員

【会議概要】

■本部長あいさつ（篠田市長）

- 今回は人口減少，超高齢という明確な大きな潮流がある。
- 少子化は今後さらに加速していく。子どもを安心して生み育てられることがテーマ。
18歳人口の確保は総合計画の大きなポイントであり，大学の拡充，専門学校への支援，高卒者が胸を張って働ける職場づくりが考えられる。
22歳人口の流出を抑制するには，魅力的で多様な職場づくりが求められる。
- 超高齢社会については，地域で医療・介護を受けられる体制の構築がポイントとなる。
- 大合併後の持続可能なまちづくりを進めていくには，行政サービス，さまざまな機能，まちの楽しさの質を落とさず，しかし施設は整理していく必要がある。単一目的，単一機能の施設ではなく，複合型としてサービスを提供していくのが今後の流れ。持続可能な暮らしを作るための，公共交通で移動できるまちづくりについても考えていく必要がある。
- 市民の皆さんにわかりやすい総合計画としていく。

■議 事

資料に基づき事務局より説明。

- 次期総合計画策定の目的は，これまでの取組みの成果を土台とした新たなステージでのまちづくりを，地域・市民と共に進めるための指針とすること。
- 策定にあたっては，「財政状況の変化への対応」や「超高齢・人口減少社会の到来」などを踏まえて策定していく。
- 計画の基本的視点については，現在取組みを進めている10大プロジェクトや4次実施計画の方向性を踏まえ，市民の皆様にご自身の将来像を描いていただけるよう，わかりやすい計画としていく。
- 計画期間については，現在の計画と同様に，平成27年度から平成34年度末までの8年間，実施計画は2年間とする。
- 4次実施計画，10大プロジェクトをはじめとした「安心政令市にいがた」の実現に向けた取組みや，本市のまちづくりに対する各提言などを「土台」とし，その方向性を踏まえた柱建てを基本的な考え方とする。
- 計画策定に向けた，主に庁内における当面の作業の流れについては，関係各部・区に依頼した現計画の現状調査をもとに，成果と課題の整理を行っており，その結果を踏まえ，都市像及び基本政策の方向性の骨格案の検討に入る。
- 計画策定に向けた市民参加等の取組みについては，策定の初期段階において，これまで以上に市民参加の機会を設け，様々なまちづくりの主体など幅広い方々から意見をいただくことを予定しており，骨格，素案づくりに活かしていく。
- 次期総合計画策定スケジュールは，これまでに説明した内容のほか，実施計画の策定や審議会などを加えた，現時点での全体スケジュールである。タイトなスケジュールでの策定作業となるが，よろしくお願ひしたい。